



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年1月27日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 デサント

コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 悦朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役スタッフ部門長 (氏名) 石本 雅敏

TEL 06-6774-0362

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 55,781 | △0.1 | 2,485 | 13.1 | 2,661 | 11.7 | 1,812 | 18.9 |
| 22年3月期第3四半期 | 55,861 | △6.2 | 2,198 | △48.5 | 2,381 | △44.0 | 1,523 | △32.8 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 24.04 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 20.21 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 64,327 | 41,081 | 63.9 | 545.11 |
| 22年3月期 | 60,898 | 40,595 | 66.2 | 534.68 |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 41,081百万円 22年3月期 40,307百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | 7.00 | 7.00 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 23年3月期(予想) | | | | 7.00 | 7.00 |

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 78,000 | 2.6 | 3,700 | 19.8 | 3,800 | 15.7 | 2,200 | 19.2 | 29.18 |

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年3月期3Q | 76,924,176株 | 22年3月期 | 76,924,176株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年3月期3Q | 1,561,063株 | 22年3月期 | 1,537,417株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年3月期3Q | 75,377,936株 | 22年3月期3Q | 75,390,986株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 4 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 4 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 4 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 4 |
| (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 7 |
| 【第3四半期連結累計期間】 | |
| 【第3四半期連結会計期間】 | |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (5) セグメント情報等 | 10 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 12 |
| 4. 補足情報 | 13 |
| (1) 販売実績 | 13 |
| (2) 海外売上高 | 13 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、欧州の財政不安と米国の失業率の悪化等があるものの、インドと中国が中心となり世界的には緩やかな回復基調の状況を示しました。わが国経済は、企業業績に一部改善の兆しが現れてはいるものの、不安定な世界経済や円高傾向からくる景気の先行き不透明感が続いており、依然として予断を許さない状況が続いております。

当スポーツ業界におきましては、健康志向によるスポーツへの関心は高まりがみられましたが、消費者のデフレ感が進み、高価格帯商品を中心とする買い控えの影響は大きく、厳しい状況となりました。

このような経営環境のなか、国内での販売につきましては個人消費の低迷の影響を受け低調に推移しましたが、海外での販売につきましては、韓国は好調に、中国は堅調に推移しました。なお、東南アジア地域における事業拡大を目指し、販売機能強化のため、12月にシンガポールデサント株式会社を設立致しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比0.1%減の55,781百万円となり、営業利益は前年同四半期比13.1%増の2,485百万円、経常利益は前年同四半期比11.7%増の2,661百万円、四半期純利益は前年同四半期比18.9%増の1,812百万円となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

アウトドアウェアは順調に推移しましたが、アスレチックウェアおよびゴルフウェアは苦戦が続ききました。結果、売上高は42,517百万円、セグメント利益は1,894百万円となりました。

(アジア)

アスレチックウェアは韓国、香港、中国で概ね好調に推移しましたが、ゴルフウェアは韓国で微増ながらも香港、中国で苦戦が続ききました。結果、売上高は12,459百万円、セグメント利益は629百万円となりました。

(北米)

北米はアウトドアウェアを中心とした事業を行っており、ほぼ前年並みに推移しました。結果、売上高は803百万円、セグメント利益は107百万円となりました。

取扱商品の品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

国内においては、「アンブロ」が好調に推移しましたが、「ルコックスポルティフ」「アリーナ」が減収となりました。海外においては、韓国で「ルコックスポルティフ」が好調に推移し、また、昨年より展開の「デサント」も好調に推移しました。結果、売上高は前年同四半期比1.0%増の28,661百万円となりました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

国内においては、主力の「マンシングウェア」が大幅な減収となりましたが、「ルコックスポルティフ」が引き続き順調に推移するとともに、キャディバッグ等のアクセサリ関連も好調に推移しました。海外においては、韓国で「ルコックスポルティフ」が好調に推移しましたが、「マンシングウェア」は減収となりました。結果、売上高は前年同四半期比2.9%減の21,629百万円となりました。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

国内においては、「マーモット」が好調に推移するとともに、「デサント」は堅調に推移しました。海外においては「デサント」が好調に推移し、結果、売上高は前年同四半期比5.5%増の5,490百万円となりました。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は64,327百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,429百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ3,887百万円増加し、48,677百万円となりました。これは現金及び預金の増加1,348百万円、商品及び製品の増加1,566百万円、受取手形及び売掛金の増加652百万円が主なものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ458百万円減少し、15,649百万円となりました。

負債合計は、23,245百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,943百万円増加しました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,656百万円増加し、21,053百万円となりました。これは支払手形及び買掛金の増加3,205百万円、未払法人税等の減少421百万円が主なものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ286百万円増加し、2,192百万円となりました。

純資産合計は41,081百万円となりました。株主資本合計は42,531百万円となりました。

以上より、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.3%減の63.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前第3四半期連結累計期間に比べ1,998百万円増加し、16,133百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加834百万円に加え、たな卸資産の増加1,753百万円、法人税等の支払額1,503百万円などがありましたが、仕入債務の増加3,343百万円、非資金項目としての減価償却費814百万円、税金等調整前四半期純利益2,640百万円の計上などがあり、2,703百万円の収入超過(前第3四半期連結累計期間は、104百万円の支出超過)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社株式の取得、直営店及び百貨店等における売場資産の取得などにより、579百万円の支出超過(前第3四半期連結累計期間は、891百万円の支出超過)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払527百万円などにより、550百万円の支出超過(前第3四半期連結累計期間は、240百万円の支出超過)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境はさらに厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社は引き続き企業体質の強化による収益力向上と企業価値の向上に努めてまいりたいと存じます。

連結業績予想につきましては、概ね当初予想の範囲内で推移しており、現時点においては、平成22年5月12日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計年度末に実地棚卸を行ったたな卸資産については、当該実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっており、第2四半期連結会計年度末に実地棚卸を省略したたな卸資産については、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

④ 税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益がそれぞれ3百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が69百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は79百万円であります。

② 企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|-------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 16,406 | 15,057 |
| 受取手形及び売掛金 | 17,147 | 16,494 |
| 商品及び製品 | 12,752 | 11,185 |
| 仕掛品 | 122 | 128 |
| 原材料及び貯蔵品 | 386 | 393 |
| その他 | 1,887 | 1,555 |
| 貸倒引当金 | △26 | △27 |
| 流動資産合計 | 48,677 | 44,789 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 8,824 | 8,940 |
| 無形固定資産 | 708 | 791 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 6,384 | 6,622 |
| 貸倒引当金 | △267 | △245 |
| 投資その他の資産合計 | 6,116 | 6,376 |
| 固定資産合計 | 15,649 | 16,108 |
| 資産合計 | 64,327 | 60,898 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 16,105 | 12,899 |
| 短期借入金 | 250 | 200 |
| 未払法人税等 | 559 | 981 |
| 賞与引当金 | 409 | 770 |
| 返品調整引当金 | 882 | 451 |
| その他 | 2,845 | 3,093 |
| 流動負債合計 | 21,053 | 18,396 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 852 | 730 |
| 役員退職慰労引当金 | — | 4 |
| その他 | 1,340 | 1,170 |
| 固定負債合計 | 2,192 | 1,905 |
| 負債合計 | 23,245 | 20,302 |

(単位:百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,846 | 3,846 |
| 資本剰余金 | 25,184 | 25,184 |
| 利益剰余金 | 14,157 | 12,872 |
| 自己株式 | △656 | △644 |
| 株主資本合計 | 42,531 | 41,259 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △307 | △154 |
| 繰延ヘッジ損益 | △1 | △6 |
| 為替換算調整勘定 | △1,141 | △789 |
| 評価・換算差額等合計 | △1,450 | △951 |
| 少数株主持分 | — | 287 |
| 純資産合計 | 41,081 | 40,595 |
| 負債純資産合計 | 64,327 | 60,898 |

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 55,861 | 55,781 |
| 売上原価 | 30,667 | 29,555 |
| 売上総利益 | 25,194 | 26,225 |
| 返品調整引当金繰入額 | 362 | 431 |
| 差引売上総利益 | 24,831 | 25,793 |
| 販売費及び一般管理費 | 22,633 | 23,308 |
| 営業利益 | 2,198 | 2,485 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 60 | 43 |
| 受取配当金 | 34 | 33 |
| その他 | 169 | 200 |
| 営業外収益合計 | 263 | 277 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8 | 3 |
| 固定資産除却損 | 32 | — |
| 投資事業組合損失 | 20 | — |
| 為替差損 | — | 37 |
| その他 | 19 | 59 |
| 営業外費用合計 | 80 | 100 |
| 経常利益 | 2,381 | 2,661 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 53 | 4 |
| 貸倒引当金戻入額 | 31 | — |
| 負ののれん発生益 | — | 192 |
| 特別利益合計 | 85 | 196 |
| 特別損失 | | |
| 本社移転費用 | — | 152 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 65 |
| 特別損失合計 | — | 217 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,466 | 2,640 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,146 | 1,138 |
| 法人税等調整額 | △216 | △314 |
| 法人税等合計 | 929 | 824 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 1,816 |
| 少数株主利益 | 14 | 4 |
| 四半期純利益 | 1,523 | 1,812 |

【第3四半期連結会計期間】

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 18,923 | 19,048 |
| 売上原価 | 10,861 | 10,323 |
| 売上総利益 | 8,061 | 8,725 |
| 返品調整引当金繰入額 | 321 | 369 |
| 差引売上総利益 | 7,740 | 8,356 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,209 | 7,525 |
| 営業利益 | 530 | 830 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13 | 16 |
| 受取配当金 | 8 | 8 |
| 為替差益 | 57 | 20 |
| その他 | 54 | 51 |
| 営業外収益合計 | 134 | 97 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2 | 0 |
| 売上割引 | — | 4 |
| 固定資産除却損 | 16 | 5 |
| ゴルフ会員権評価損 | — | 3 |
| その他 | 9 | 0 |
| 営業外費用合計 | 28 | 14 |
| 経常利益 | 636 | 913 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 31 | — |
| 特別利益合計 | 31 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 668 | 913 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 311 | 643 |
| 法人税等調整額 | △130 | △226 |
| 法人税等合計 | 180 | 416 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 497 |
| 少数株主利益 | 10 | — |
| 四半期純利益 | 477 | 497 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,466 | 2,640 |
| 減価償却費 | 740 | 814 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △52 | 17 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △326 | △361 |
| 返品調整引当金の増減額(△は減少) | 362 | 431 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 170 | 122 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 0 | △4 |
| 受取利息及び受取配当金 | △94 | △76 |
| 支払利息 | 8 | 3 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,205 | △834 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △1,077 | △1,753 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △301 | 3,343 |
| その他 | 24 | △262 |
| 小計 | 715 | 4,080 |
| 利息及び配当金の受取額 | 94 | 76 |
| 持分法適用会社からの配当金の受取額 | 79 | 53 |
| 利息の支払額 | △8 | △3 |
| 法人税等の支払額 | △985 | △1,503 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △104 | 2,703 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 157 | 499 |
| 定期預金の預入による支出 | △1,295 | △498 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △346 | △493 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △80 | △112 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △7 | △7 |
| 投資有価証券の償還による収入 | 500 | 100 |
| 子会社株式の取得による支出 | — | △97 |
| その他 | 182 | 30 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △891 | △579 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 330 | 50 |
| 配当金の支払額 | △527 | △527 |
| 自己株式の取得による支出 | △1 | △13 |
| その他 | △41 | △59 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △240 | △550 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 70 | △223 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,165 | 1,350 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 15,300 | 14,783 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 14,134 | 16,133 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(事業の種類別セグメント情報)

<前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)>

当社及び連結子会社の事業は、スポーツウェア及びその関連商品の製造・販売に関する単一の事業セグメントであるため、該当事項はありません。

<前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)>

同上

(所在地別セグメント情報)

<前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)>

| | 日本 (百万円) | アジア (百万円) | 北米 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-------------|--------------|-------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 14,579 | 3,560 | 783 | 18,923 | — | 18,923 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 350 | 0 | — | 351 | (351) | — |
| 計 | 14,930 | 3,560 | 783 | 19,274 | (351) | 18,923 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 429 | △17 | 204 | 616 | (86) | 530 |

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

<前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)>

| | 日本 (百万円) | アジア (百万円) | 北米 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-------------|--------------|-------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 44,464 | 10,602 | 793 | 55,861 | — | 55,861 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,978 | 15 | — | 1,993 | (1,993) | — |
| 計 | 46,442 | 10,618 | 793 | 57,855 | (1,993) | 55,861 |
| 営業利益 | 1,681 | 531 | 6 | 2,220 | (22) | 2,198 |

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

(海外売上高)

<前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)>

| | アジア | 北米 | その他の地域 | 計 |
|------------------------------|-------|-----|--------|--------|
| I 海外売上高(百万円) | 3,720 | 784 | 122 | 4,627 |
| II 連結売上高(百万円) | — | — | — | 18,923 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%) | 19.7 | 4.1 | 0.7 | 24.5 |

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・スペイン、スイス、ロシア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

<前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)>

| | アジア | 北米 | その他の地域 | 計 |
|------------------------------|--------|-----|--------|--------|
| I 海外売上高(百万円) | 11,765 | 807 | 1,072 | 13,644 |
| II 連結売上高(百万円) | — | — | — | 55,861 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%) | 21.1 | 1.4 | 1.9 | 24.4 |

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・スペイン、スイス、ロシア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(セグメント情報)

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、スポーツウェア及びその関連商品の製造・販売を行っており、会社所在地の地域ごと(日本・アジア・北米)に製造販売拠点を置き、会社所在地の地域ごと(日本・アジア・北米)にそれぞれ各ブランドの包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、本社及び連結子会社を基礎とした会社所在地の地域別セグメントから構成されており、「日本」、「アジア」及び「北米」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|-------|-----|--------|-------------|---------------------------|
| | 日本 | アジア | 北米 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,014 | 4,245 | 787 | 19,048 | - | 19,048 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 346 | 1 | 2 | 350 | △350 | - |
| 計 | 14,361 | 4,246 | 790 | 19,398 | △350 | 19,048 |
| セグメント利益 | 539 | 190 | 216 | 947 | △116 | 830 |

(注1) セグメント利益の調整額△116百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、棚卸資産の調整額△110百万円が含まれております。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|--------|-----|--------|-------------|---------------------------|
| | 日本 | アジア | 北米 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 42,517 | 12,459 | 803 | 55,781 | - | 55,781 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 1,849 | 2 | 7 | 1,858 | △1,858 | - |
| 計 | 44,366 | 12,461 | 811 | 57,639 | △1,858 | 55,781 |
| セグメント利益 | 1,894 | 629 | 107 | 2,631 | △145 | 2,485 |

(注1) セグメント利益の調整額△145百万円には、セグメント間取引消去△39百万円、棚卸資産の調整額△106百万円が含まれております。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(単位：百万円、%)

| 区分 | 前第3四半期連結累計期間 平成22年3月期第3四半期 | | 当第3四半期連結累計期間 平成23年3月期第3四半期 | | 増減 | |
|-----------------------|-------------------------------|-------|-------------------------------|-------|------|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 増減率 |
| アスレチックウェア 及びその関連商品 | 28,378 | 50.8 | 28,661 | 51.4 | 282 | 1.0 |
| ゴルフウェア 及びその関連商品 | 22,277 | 39.9 | 21,629 | 38.8 | △647 | △2.9 |
| アウトドアウェア 及びその関連商品 | 5,205 | 9.3 | 5,490 | 9.8 | 284 | 5.5 |
| 計 | 55,861 | 100.0 | 55,781 | 100.0 | △80 | △0.1 |

(注) 第1四半期連結会計期間より、区分を変更しております。前第3四半期連結累計期間の金額及び構成比につきましては、当第3四半期連結累計期間の区分に対応する区分の金額及び構成比に変更しております。

(2) 海外売上高

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

| | アジア | 北米 | その他の地域 | 計 |
|------------------------------|-------|-----|--------|--------|
| I 海外売上高(百万円) | 4,418 | 788 | 131 | 5,338 |
| II 連結売上高(百万円) | — | — | — | 19,048 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%) | 23.2 | 4.1 | 0.7 | 28.0 |

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 ①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等
 ②北米・・・・・・米国、カナダ
 ③その他の地域・・・・スイス、ロシア、スペイン等
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

| | アジア | 北米 | その他の地域 | 計 |
|------------------------------|--------|-----|--------|--------|
| I 海外売上高(百万円) | 13,337 | 817 | 1,402 | 15,558 |
| II 連結売上高(百万円) | — | — | — | 55,781 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%) | 23.9 | 1.5 | 2.5 | 27.9 |

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 ①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等
 ②北米・・・・・・米国、カナダ
 ③その他の地域・・・・スイス、ロシア、スペイン等
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。